

「貿易保険の在り方に関する懇談会（第3期）」第2回会合 議事要旨

○ 日時：令和6年4月23日（火曜日）10時00分～11時40分

○ 場所：経済産業省第3特別会議室・オンライン併用開催

○ 参加者：

● メンバー（氏名五十音順）

- 石橋 健二 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 リスク管理部担当部長
- 伊藤 恵子 千葉大学大学院 社会科学研究院教授
- 植村 信保 福岡大学 商学部教授
- 遠藤 典子 早稲田大学 研究院教授
- 高見 順彦 株式会社三井住友銀行 執行役員/ストラクチャードファイナンス営業部長
- 山碓 拓 三菱商事株式会社 日本機械輸出組合貿易保険委員会委員長
財務部 ALM 企画室 カントリーリスク管理担当 シニアマネージャー
- 横田 絵理 慶應義塾大学 商学部教授
- 和田 照子 日本経済団体連合会 国際経済本部長

● 経済産業省

- 松尾 剛彦 通商政策局長
- 鋤先 幸浩 大臣官房審議官（貿易経済協力局・国際技術戦略担当）
- 服部 桂治 通商政策局 総務課長
- 河原 圭 貿易経済協力局 通商金融課長

● オブザーバー

- 金融庁
- 財務省

○ 論点

1. リスク管理の在り方
2. 財務基盤強化の在り方
3. 政策的意義の高い分野への優先支援の検討の在り方

○ 議事要旨：

【松尾局長より開会挨拶】

【事務局から事務局資料説明】

【懇談会メンバーによる意見交換】

<リスク管理の在り方>

- 貿易保険のリスク管理は、リスク総量算定の技術的な限界を踏まえ、リスク総量管理、集中リスク管理、ストレステストを適切に組み合わせることが重要。
- 民間の保険会社においては、2025年度より、従前より保守的な健全性規制を新たに導入。国際的にも同水準の規制の検討が進んでいる。こうした動向も念頭に置きつつ、貿易保険の特殊性も踏まえ、最大リスク見込額の算出方法を適切にアップデートしていくことが重要。
- 集中リスクの定義や特性を明確化する必要。また、集中リスクの引受上限については、政府によるリスク引受にかかわらず、当該リスク以外のリスクが同時に発生する可能性や、支払原資が大きく毀損した場合の回復シナリオなども踏まえて設定する必要。
- 引受上の工夫等を講じる場合、保険利用者に対する丁寧な説明を期待。
- 付保率の引下げにより一定の欠け目を設けることにより、保険利用者との適切なリスクシェアを図る効果を期待。
- 融資保険における引受期間の短縮は、事業の経済性に直結するため、国際競争力への影響に配慮する必要。まずは政府引受等の措置を検討すべき。保険期間の短縮は集中リスクの引受残高を直接引き下げる効果が小さい。
- 国際経済環境の変化に応じて、きめ細やかに付保条件の見直しを図るべき。
- 既存投資向けの保険引受について、新規投資向けの保険引受の場合に比べると、一般的に、保険利用者とNEXIにおける情報の非対称性が大きく、また、逆選択やモラルハザードの懸念があるため、それらを踏まえて適切な付保率や保険料率を設定すべき。他方、保険利用者にとって、日本独自の支援であり「強み」となり得るため、保険引受が継続されることが望ましく、突然、保険が全く引き受けられなくなる事態は避けるべき。段階的かつきめ細やかな保険料率の設定や付保率の調整等の措置が望ましい。
- 民間の保険会社や海外ECAへの出再は、集中リスクの対応策としては難しい側面もあるが、リスク分散の観点から、引き続き取り組むことが重要。

<財務基盤強化の在り方>

- 貿易保険は、通常の保険によって救済されないリスクに備える手段であり、保険期間の短縮や付保率の引下げ等の引受上の工夫を行う前に、まずは政府の役割強化を検討すべき。政府による一層踏み込んだ予算措置が不可欠。予見可能性の確保に資するよう、再保険制度の創設など制度的な対応を含め、検討すべき。
- 保険料率について、国際競争力への影響のほか、保険種毎の保険利用者の違いやリスクの違いも踏まえた公平性に配慮すべき。保険利用者は、政府の役割を期待するだけでなく、一定の保険料率の上昇については痛みを許容することが重要。保険料率の上昇によって、保険利用者の保険利用に係る態度が慎重となり申込みが抑制されるため、引受上の工夫にもつながる。財政出動を伴う支援を講じる前提として、保険料率の見直しも検討すべき。

- 資金運用にあたっては、民間の保険会社で普及している保険負債のリスク特性に対応した資産を保有する ALM の取組を進めることが重要。資金運用の状況について、継続的かつきめ細かにレビューしていくことが重要。
- 政府の役割について、国の援助政策の一環として行われた NEXI 債権の削減実績に対する NEXI への交付実績は、未だ低い水準に留まっている。国際経済環境が激変し、貿易保険の重要性・必要性が高まる今こそ、財務基盤の拡充に向けて、一層踏み込んだ予算措置が不可欠。

<政策的意義の高い分野への優先支援の検討の在り方>

- 政策的意義の高い分野については、重点的な保険引受を可能とするため、政府による措置（追加の予算措置や政府引受等の制度措置）を検討すべき。
- 政策的意義の高い分野としては、サプライチェーン強靱化、脱炭素、共通利益、輸出促進、スタートアップを含む中小・中堅企業の海外展開支援等が考えられる。いずれも重要。脱炭素においては、エネルギートランジションも含めるべき。

<適切な体制整備>

- 貿易保険の引受は、専門性、個別性が強く、体制整備を進める上では属人的な管理とならないよう留意することが重要。
- リスク管理を十分機能させるためには、担当部門だけでなく各領域においてリスク管理の重要性を一層認識することが重要。

以 上